

2023年クラブ内トーナメント規則

I) 開催時期・種目

- 3月 ダブルス 【一般A(男子ペア)・B(男子ペア女子ペア)】、
【壮年A(男子ペア)・B(男子ペア女子ペア)】、【混合(男女ペア)】
- 9月 シングルス 【一般A(男子)・B(男子又は女子)】
- 12月 シングルス 【壮年男子A・B、壮年女子】

※ Bクラスは男子と女子が混在して参加可能とします。ダブルスBクラスの場合は男子ペア、女子ペアとして参加頂きます。男女がペアで参加出来るダブルスは【混合】とします。

II) 試合方法(赤字は本年ルール変更部分)

- 1) 全ての試合、各ゲームはセミアドバンテージルール(デュースは1回のみ)
サイドはレシーバーが選択。混合ダブルスは同性がレシーブ。
- 2) 全ての試合、各セットのタイブレークは7ポイントタイブレーク、**セットオール時のタイブレークは10ポイントタイブレーク**とします。
- 3) ダブルス
 - ① 全ての種目8ゲームマッチ(8-8タイブレーク) ※混合ダブルス決勝含む
 - ② 混合を除く各種目の決勝は2セットマッチ、セットオール時は**10ポイントタイブレーク**
 - ③ 混合ダブルスのプレートは1セットマッチ(6-6タイブレーク)
- 4) シングルス
 - ① 1セットマッチ(6-6で7ポイント、セットオール時**10Pタイブレーク**)
 - ② **準決勝・決勝**は2セットマッチ(6-6で7ポイント、セットオール時**10Pタイブレーク**)
 - ③ 敗者復活ドロー(初戦敗退の選手は異なるブロックから再度試合)

III) 試合の申込締切・進行

- ① 申込締切は一週間前の日曜日午後3時(同日ドロー作成、掲示)
- ② 日程は日曜(8:30~) → 土曜(8:30~) → 日曜 → 土曜 ※ 祝日・振休も含む。

IV) クラブ内特別ルール(赤字は本年ルール変更部分)

- ① 申込締切後の出場選手の変更はできません。参加料の払い戻しはいたしません。
- ② 参加資格について
年齢：壮年はスタート日に男性は満60才以上、女性は満50才以上とします。
クラス：男性はA、Bどちらに申し込まれても構いませんが、Bクラスでは選手の技量をドロー会議にて判断しAクラスになる場合もあります。
成績：各種目Bの優勝経験者は同種目には出場できません。
壮年Bの優勝者は一般Bに出場できます。一般Bの優勝者は壮年Bには出場できません。男子B、壮年Bの試合が同時進行中は一般Bで先に優勝しても壮年Bに出場中の場合は試合ができます。
シングルスとダブルスは別々に考え、シングルスBの優勝者はダブルスBに出場できます。逆の場合も同様です。
- ③ ドローのシードは前年度、前々年度の成績に基づいて決定します。
- ④ 遅刻ペナルティー
15分までサーブ/コートを選択権及び1ゲーム失点。15分を超えた場合は失格。
双方とも遅刻の場合も同様に適用。遅刻ペナルティーは理由の如何に関わらず適用。
- ⑤ 試合前のウォームアップはサービス、レシーブのみとします。
- ⑥ 試合中にトラブルが発生した場合は、まず当事者(選手)同士で解決をはかり、それでも解決できない場合はレフェリーが判断します。
- ⑦ 次の試合までの休憩時間は30分としますが、レフェリーの判断に委ねます。
- ⑧ 1日のセット数の限度は4セットまでとします。進行に差し障りがなく、選手同士が了承すれば、これ以上の試合をする場合もあります。
気温が30℃を超える場合、2セットマッチは1日1試合とすることもあります。
- ⑨ 試合中の「けいれん」は一人1回に限り5分の休憩とし、2度目は危険防止のため棄権負けとします。
- ⑩ 試合当日に、まだ出場予定の試合がある選手が試合以外でプレーした場合は失格とします。試合開始が午前8:30以降の場合は1時間前から適用とします。練習板の使用は可能です。
- ⑪ 上記以外は「コートの子」(テニスルール・ハンドブック日本テニス協会発行)に基づきます。